

地域の課題を 共に語り合いました



5月25日から6月25日まで、市街地区、原野地区の集会所を中心に10カ所で町政懇談会を開催しました。延べ126名の皆さんが参加し、たくさんのご意見やご提案が寄せられました。地域の課題など、積極的に意見交換がおこなわれました。複数の会場で話題となった内容などを一部ご紹介します。

ごみの不法投棄について

意見 ごみの不法投棄がひどい。

複数会場で、場所も特定した発言有り。

説明 不法投棄防止の看板を設置したり、広報で啓蒙したりしているが、個人のモラルの問題でこれといった解決策がない。4月から毎週のように通報があり、個人を特定できる場合は、回収してもらったりしている。

個人で警察に協力を依頼した例もある

と出席者の発言有り。

意見 ごみ処理施設への搬入料金が

高すぎる。不法投棄が増えているのは、高い料金も要因のひとつではないのか。

説明 料金は3町村で決めている。

今後話し合っていきたい。

不法投棄をさせない環境も必要。草刈など、地域の環境整備について、町内の協力も大切。パトロールに力を入れるのが、町民全体が目を向ける

ようになれば少しは良い方向へ向かうのではないが。

港や道路について

質問 中央埠頭の建設計画が進んでいるが、完成している北側の港はどう活用されるのか。かなり年数経過しているが方向性が見えない。

説明 当初は貨物船が入ると計画し、整備したが、現実には出入りがない。考えなくてはならないが、まずは中央埠頭整備を完了し、その後未使用部分の検討をしていく。

意見 2条通りの地盤が非常に悪い。トラックが通るたびに揺れがひどい。3月に建設水道課に陳情したが、その後話は進んでいるか。下水道工事の影響もあるのではないか。毎年現場を見に来ているが、それより先に進まない。

説明 基本的には町が手がかりをつかんで、住民主導で進めていくものと考え。関係機関と連携を深めながら対策を模索している。

質問 「民間による組織をつくりたい」と言うが、どういったものか。

説明 医師が地域に根付くよう、医師が地域で働きやすい環境をつくる支援活動ができないか。例えば病院のPRや地域と医師との交流の場を設けるなど病院が身近になるような民間組織をつくらうとしている。他の地域の例もあるが、地域医療を守り育てていくため町民の方々の力をお借りしたい。

意見 町内で介護療養型病床は民間病院にあるが、すでに満床で待機者もいるという。民間だけに任せきりでよいのか。当然、病院とも協議し、羽幌町としての療養病床体制をとってほしい。

意見 町内で唯一の民間病院でもあり、いろいろな意見を伺いながら一歩進んでやっていきたい。

保育所について

質問 保育所の移転問題は怎么样了。

説明 建設に係る補助金がいっさいなくなつた。町の財政状況を踏まえ検討している。児童福祉施設検討会でも検討を重ねてきたが、町の他の建物全体を考え、まちづ

意見 道路にひびが入り、盛り上がっている。冬のシバレが、例年なら春には平らになるが、今年はもどかない。

説明 陳情は承知している。2条通りに限らず、町道はあちこちで傷んでいる。特にこの春の路盤状況は例年とも違う様子。現地を確認して、次期予算にむけて緊急度、優先度を踏まえながら対応していきたい。

集会所・公園管理について

意見 集会所の敷地が広く、空き地部分の草刈が大変。町内会で対応していたが、高齢化しており負担となっている。町の公園管理のついでにお願いでできないものか。

説明 集会所は基本的には町内会の自主運営。周辺敷地の環境整備も町内で自主管理となっている。町管理の施設が近くても例外にはならないので、できれば町内で解決してほしい。

観光について

意見 町のPR・観光に役買えるような「ゆるキャラ（ゆるいキャラクター）」を募集してみてもどうか。

説明 貴重な意見として今後検討したい。

その他話題になつた主な事項

・公営住宅建替え計画及び公営住宅等の入居や管理、補修について

・町有地の管理に関すること

・除雪に関すること

・独居老人世帯などに対する地域の見守りや福祉について

・羽幌の川の水質環境について

・エソシカ被害の対策について

・キツネの出没や野良猫について

・町議会議員の定数に関すること

・遊園地の遊具に関すること

・新葬斎場建設計画に関すること

・車庫やプレハブ等の課税について

・下水道接続に関すること



意見 パークゴルフ場の夜間利用者はどれくらいか。夜間照明は無駄ではないのか。

説明 雨の日などは照明を消すようにしている。使用実態を調査し、無駄のないよう対応する。

地域医療について

意見 道立羽幌病院について、医師が減となるのがわかってからではなく、常に医師確保への動きをとるべき。町として費用を負担して、医師確保・地域医療を守るための取り組みをしてはどうか。

説明 町として、できることは取り組んでいこうということ動いている。ある程度の費用負担は覚悟している。早急に中身の検討に取り組んでいく。

意見 道立羽幌病院の病床数が減り、4階は使われていない。このままにしておくつもりか。介護療養型にする考えはないか。

説明 以前、道に要請した経過があるが、当時、道にその考えはなかった。町や民間が行うのなら施設貸与は可能というが、町が運営するには、医師や看護師を独自に確保しなければならず難しい。考え方の中にはあるが、現状はその段階で止まっている。

質問 「医師確保へ地域でなができるかプロジェクトを組んで対応したい」と説明されたが、どの程度進んでいるのか

ようになれば少しは良い方向へ向かうのではないが。

詳細・お問い合わせ
政策推進課広報聴係
☎ 62・1211（内線221）

離島地区町政懇談会は
天売8月26日、焼尻8月27日に開催
予定（詳細は、回覧でご案内します）